

頁	行	誤	正
二	六	開田	開田
二	一〇	同國開田	同國開田
〃	一六	のを引いて	として
〃	一七	けれども…… ……であり、また	この引用文は、実は同日記九月廿一日条にあり、当該部分は文科大學史稿纂本『大館常興日記』の底本となった内閣文庫所蔵旧淺草文庫本「公儀之日記」にも「城州開(開)田庄」とある。けれども
〃	一八	寺領目録	寺領文書目録
〃	〃	開田庄	開田庄
〃	一九	開田・勅旨田	開田・勅旨田
〃	〃	ことからも、それは 明白である	(削除)
一三	一〇三	(削除)	(左の文を挿入) 真光院本「仁和寺御伝」に収める九条道家の子息御室法助の建長三年(一二五二)三月二日付願文(『日本歴史地名大系』二六「京都の地名」所引)には「以批開田一庄奉施淨土寺三寶永可停止他公役雜事等」云々と見え、法助は「開田准后」と称された(『仁和寺御伝』「雜事分懸」等)。この開田の地はほぼ近世の乙訓郡開田村、現長岡京市の中央部に比定される。
二九	一二	紺志淨宗	貴志淨宗

正誤表

「國學院大學図書館紀要 第1号」

誤 正

百二十四頁・百二十五頁・百三十頁

「文政辛巳濱松貳長文庫」↓「文政辛巳濱松貳長齋文庫」

百二十五頁

「貳長齋水野藏」 ↓ 「貳長齋水野藏」

百三十一頁

「村田春〇」 ↓ 「村田春塾」

頁	行	誤	正
二	六	開田 同国開田	開田 同国開田
二二	一〇	のを引いて	として
二二	一六	けれども…… ……であり、また	この引用文は、実は同日記九月廿一日条にあり、当該部分は文科大学史籍蔵書本『大館常興日記』の底本となった内閣文庫所蔵旧浅草文庫本「公儀之日記」にも「城州開(開)田庄」とある。けれども
二二	一七	寺領目録	寺領文書目録
二二	一八	開田庄	開田庄
二二	一九	開田・勅旨田	開田・勅旨田
二二	二〇	ことからも、それは明白である	(削除)
二二	二一	(削除)	(左の文を挿入) 真光院本(二)和寺御伝に収める九条道家の子息御室法助の建長三年(一一二五)三月二日付願文(『日本歴史地名大系』二六『京都の地名』所引)には、「以此開田一庄奉施法華寺三致、永可存止他公役雜事等事」云々と見え、法助は「開田准后」と称された(『仁和寺御伝』『尊卑分脈』等)。この開田の地はほぼ近世の乙訓郡開田村、現長岡京市の中央部に比定される。
二九	二二	根志淨宗	貴志淨宗